

# 地震火災を防ぐポイント

## 「地震火災対策きちんと出来ていますか？」

大きな地震が起きると、火災が同時に多くの場所で発生し、消火活動が遅れ、大規模な火災につながる危険性が高くなります。また、地震で暖房器具が転倒したり、配線が傷ついたりしたまま停電していた電気が復旧し、火災が発生することもあります。

発生から10年を迎えた東日本大震災の経験や教訓を活かし、いつ起きるかわからない地震に備えて、日頃から対策を行いましょう。

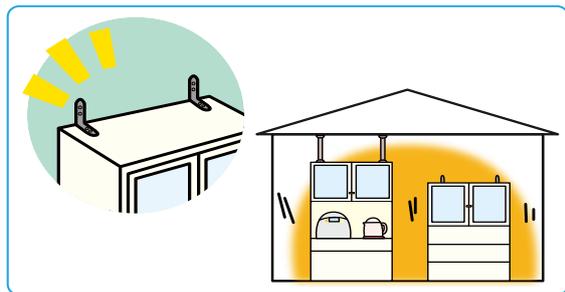


### 事前の対策

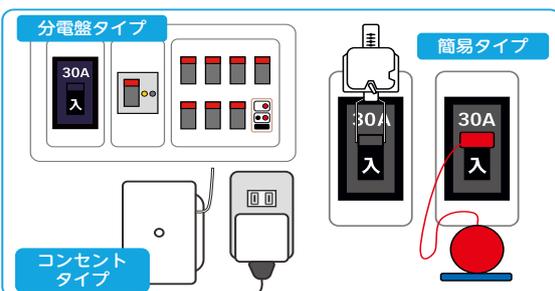
住まいの耐震性を確保しましょう



家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょう



感震ブレーカーを設置しましょう



ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう



住宅用消火器等を設置し使用方法について確認しましょう



住宅用火災警報器を設置しましょう



※交換の際は連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器へ交換しましょう。設置場所は市町村条例で定められています。